



なぜ、びゅうを移管・廃止するのか？

申2号「びゅうプラザの業務運営体制の見直し」に対する申し入れ

新潟地本は、地本申2号として「『びゅうプラザの業務運営体制の見直し』に対する申し入れ」を新潟支社に提出しました。

過日新潟支社より、びゅうプラザ鶴岡駅・びゅうプラザ柏崎駅を廃止、びゅうプラザ長岡駅をびゅうトラベルサービス(株)へ移管するとした提案を受けました。

施策実施の理由について支社側より、旅行業界を取り巻く環境やお客さまニーズの変化に対応するためとの説明を受けました。環境やニーズの変化に対応する必要性については理解できるところですが、それが何故、店舗廃止やびゅうトラベルサービスへの移管へと繋がるのか、現場社員はその関連性に疑問や不安を抱いています。

旅行業は当社に欠かすことのできない大切な分野であり、支社が掲げる地域社会との共生という課題を踏まえれば、対面接客による販売体制は欠かすことができません。

将来にわたって地域社会から愛され、働きがいのある旅行業職場を実現していくために下枠のとおり申し入れました。

申2号 申し入れ項目

1. 新潟支社における今後の旅行業・びゅうプラザの果たす役割・将来展望について明らかにすること。
2. びゅうプラザ鶴岡駅・びゅうプラザ柏崎駅を廃止する理由及び根拠を明らかにすること。
3. びゅうプラザ長岡駅をびゅうトラベルサービス(株)へ移管する理由及び根拠を明らかにすること。
4. 新潟支社の掲げる地域社会との共生についての考え方を明らかにすること。